

ため池の安全管理のために —— 日常点検のポイント ——



【道後平野のため池群】

愛 媛 県

1 はじめに

ため池は、古くから農業用水源として利用されてきていますが、万一決壊した場合には、その被害は農地や農道などの農業用施設にとどまらず、公共施設や人家等、更には人命にも及ぶ甚大な被害を及ぼす一面があります。

ため池が決壊する前には、漏水量の増加や濁り水が出るなど前兆現象の見られることが多く、ため池の管理者が日常点検で、いち早く異常を察知し、市町・県と連携して適切な対策を行うことが、決壊を防ぐ重要なポイントとなります。

このパンフレットは、ため池の管理者が日常行う点検項目と、その具体的ポイント、更には、ため池の異常を察知した際の連絡体制等を取りまとめていますので、有効に活用いただき、より安全な管理に取り組むようお願いいたします。

2 日常の管理

(1) 堤 体

- ・草刈りは漏水発見の第一歩です。年に2回は行いましょう。
- ・のり面に高い木が生えている場合は、速やかに除去しましょう。
- ・年に一回は落水して、念入りに調査・点検しましょう。

(2) 洪水吐

- ・土のうや堰板^{せきいた}等での堰上げ^{せきあ}は危険です。早急に撤去しましょう。
- ・洪水の流下を妨げる流木や大きい浮遊ゴミは、
速やかに取り除きましょう。

(3) 取水施設

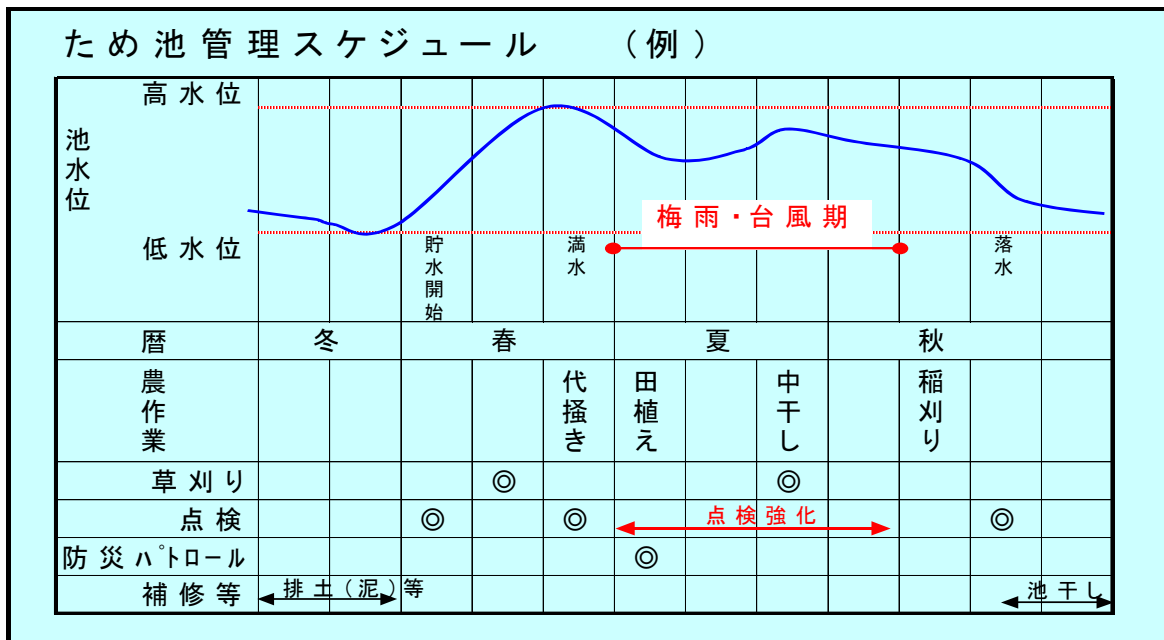
- ・樋管内や、樋管周辺からの漏水は、特に注意して点検しましょう。
- ・斜樋（ため池栓・スライドゲート）についても点検を行うとともに、
塗装や潤滑油を注入するなどの整備を行いましょう。
- ・落水時には土砂吐ゲートを点検し、
ゴミや堆積土砂などを除去しましょう。

(4) 点検の時期

- ・日常の管理や点検は定期的に行いましょう。
- ・田植えを控えた満水時期・梅雨時期・台風時期の前には、
見回りを強化して、危険な箇所がないか点検しましょう。
- ・大雨や地震の後には、安全に気をつけて異常がないか点検しましょう。

(5) その他留意点

- ・ 点検結果は、記録表(別紙参照)として大切に保管しておきましょう。
- ・ ため池管理暦(下図事例参照)を作成して、
日常点検や草刈り等のスケジュールを事前に決めておきましょう。
- ・ 管理体制が替わった時は、市町役場へ連絡しましょう。



<メモ>ため池の断面と名称

